

越前若狭の海でみ~つけた

～水産の研究成果を報告する会～

越前若狭の海を豊かな恵みの宝庫にするために、水産試験場（海洋研究部、栽培漁業センター、内水面総合センター）及び県立大学が、若狭高校、漁業者と共にいろいろな研究をしていますので、その内容をご紹介します。

日時：平成 28 年 3 月 9 日（水）午後 1:30～午後 4:30
場所：福井県立図書館多目的ホール
（福井市下馬町 51-11）



入場無料 どなたでもお気軽にお越し下さい。

発表課題

1 「越前がに」の漁場を探る

～良い漁場の秘密～

水産試験場 主任研究員 河野展久

2 「黒いダイヤ」とも呼ばれる

ナマコを若狭湾の海で

増やすには？

水産試験場 研究員 仲野大地

3 アワビの赤ちゃん、

やさしく海へ

水産試験場 主任研究員 下中邦俊

4 高級魚「マハタ」養殖に挑戦

水産試験場 主任研究員 畑中宏之

5 「海を育み恵みをつなぐ」

～生徒たちに伝えること～

栽培漁業センター 主任研究員 川代雅和

若狭高校生の発表もあります

6 安全で楽しい

ミニボートのために

県立大学 准教授 東村玲子

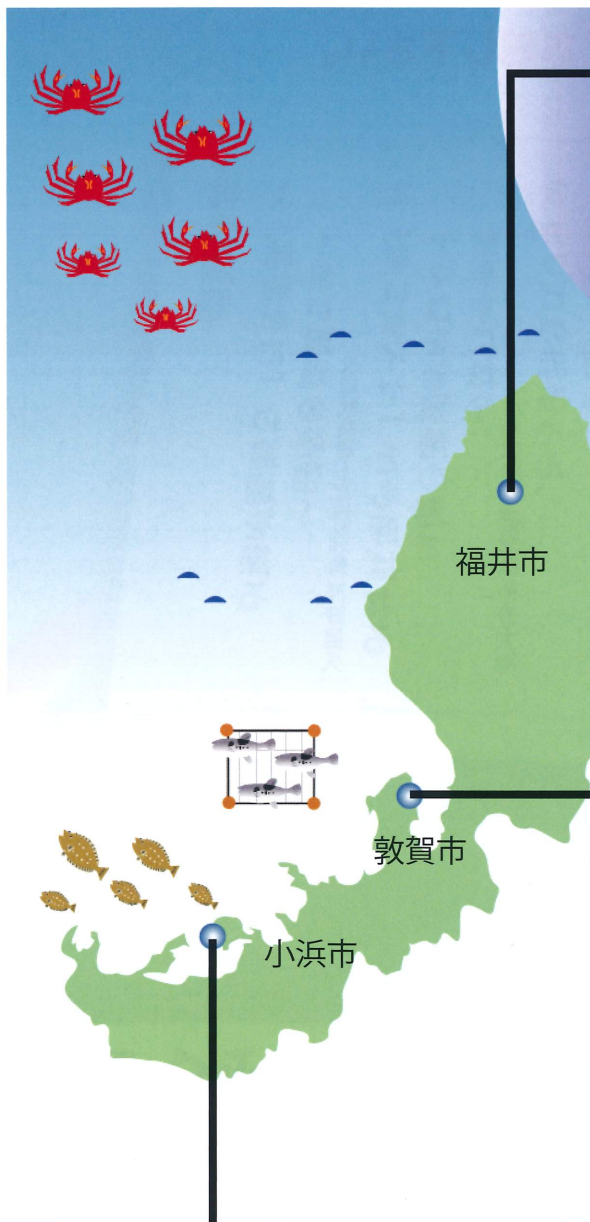
当日は若狭ふぐ、マハタ、アユなどの稚魚も観察できます。

主催 福井県水産関係産学官試験研究連絡会議
（福井県漁連、福井県立大学、福井県）

お問い合わせ 福井県水産試験場 渥美、岩谷
電話 0770-26-1331

水産試験場のしごと

「みなさんに、福井の美味しい魚をこれからもずっと食べてほしい」、それが水産試験場の願いです。水産試験場は、調査船を使って海の環境や魚の数を調べる海洋研究部、さかなの赤ちゃんを育てたくさん海へ放す栽培漁業センター、川や湖の魚を調べたりアユの赤ちゃんを川へ放す内水面総合センター、それぞれの施設で専門的な研究に取り組んでいます。



内水面総合センター

- ・アユの子どもを育てて川に放します。
- ・外来魚から日本の魚を守る方法を調べます。
- ・川や湖の魚の生態を調べます。
- ・川や湖に生息する魚や漁法を学ぶ展示施設も充実しています。



放流直後のアユ



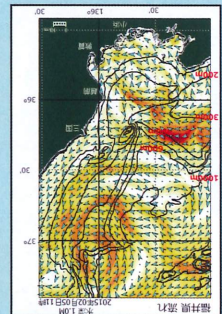
生物相調査

海洋研究部

- ・水温や水の流れを調べて海の天気予報を発信しています。
- ・元気なトラフグやマハタを育てる研究をしています。
- ・豊かな水産資源を保護する研究をしています。



トロール調査風景



海の天気予報

栽培漁業センター

- ・養殖用のトラフグやマダイの子どもを育てます。
- ・ウニ、ヒラメ、ナマコの子どもを育てて海に放します。



トラフグ(若狭ふぐ)の稚魚



ヒラメ放流